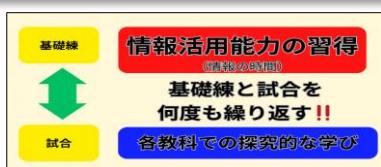


つけたい力

1年生から6年生まで一貫して、「考える力」を育てたい。
比べる、分類する、筋道立てるといった思考スキルを、
学年に応じて少しづつ積み重ねる。子どもたちが、身の
回りの情報を正しく受け取り、自分の考えを整理し、より
良い判断や表現へつなげていく力を身に付けさせたい。



取組みの概要・ポイント

- ①「情報の時間(国語科)」で、比較する、分類する、多面的に見る、などの思考スキルを系統的に習得させる。
- ②学んだ思考スキルや技を、国語、算数、社会、理科、生活科、総合的な学習の時間など各教科の探究的な学びのなかで活かす。
⇒「一度きり」の学習にしないことで、思考の定着と発展を図る。

具体的な取組みの内容

低学年

①指導した思考スキル

比べる(ベン図)、色々な方向から見る(くま手図)
広げる(イメージマップ)、組み立てる(なぜなにシート)、なかまわけ(Y、X、Wチャート)

②生活科の学びのなかで活用

【アサガオをいろいろな方向から見てみよう】
【ミニトマトをいろいろな方向から見てみよう】

③パフォーマンス課題の設定

【〇年〇組 たからものはっぴょう会をしよう！】

情報の時間の中でゲットした技を



生活科の探究的な学びの中で活用

中学年

①指導した思考スキル

比較する(ベン図、マトリックス)、理由づける(クラゲチャート)、広げる(ウェビング)、多面的に見る(フィッシュボーン)、分類する(Y、X、Wチャート)、組み立てる(ピラミッド図)、評価・分析する(PMI)

②活用テストの実施

思考スキルを活用して、自分の考えをつくる(各学期末)

③パフォーマンス課題の設定

【お気に入りの場所を発表しよう！】

考える技の数を増やす



各教科の探究的な学びの中で活用

高学年

①パフォーマンス課題の設定

【1学期 ディベート大会をしよう！】
【2学期 プレゼン大会をしよう！】
【3学期 ビブリオバトルに挑戦！】

②表現する場の設定

学んだことを、全校児童の前で表現する場を設定。

【ビブリオバトル
～チャンピオン本決定戦～】



目的に応じて



考え方を自ら選択する

取組みを通しての子どもの変容

具体的な取組みを
学校ホームページでも
紹介しています。



- 思考ツールの使い方が身につき、自分から進んで使う姿が増えた⇒「どう考えればよいか」が可視化され、学びの見通しがもてるようになった。
- 理由をつけて説明したり、筋道立てて話せるようになった⇒低学年児童でも、「共通点・ちがい」が明確に言える。自分の考えを整理して、相手に伝わる形にまとめられる。
- 思考の型が定着し、見方・考え方方が深まった⇒物事を比べる、視点を変えて見るなど、探究的な学びの基礎が身に付いた。